

やまぐちの学童保育 ニュース

山口県学童保育連絡協議会(山口県連協)
〒742-0424 岩国市周東町差川803
TEL 090-3597-9720 FAX 0827-84-1316
E-mail: yamaguchikennrenkyou@ab.auone-net.jp

第12回山口県学童保育講座実行委員会



講座事項委員会の様子

9月23日(火)秋分の日午前中に7地域12名の参加で学童保育講座実行委員会が行われました。皆さんお忙しい貴重な祝日に参加です。本当にありがとうございました。今回の第12回の講座については担当決めの主な内容です。例年のノウハウを生かして、それぞれ当日までの担当を決めていきまいた。開催は11月9日(土)に迫ってまいりました。受付もすでに始まりました。参加人数も順調な感じですが、県内で学童保育に関わる方にききたいと思っております。

第49回全国学童保育研究集会

毎年行われている全国規模での学童保育の研究集会です。昨年は岡山県で行われ、約5000名が参加をしました。今年は岩手県で10月11日、12日で行われます。

山口県連協からは2名が参加予定です。

月刊「日本の学童ほいく」誌のご購読を！

「日本の学童ほいく」は全国学童保育連絡協議会が発行している月刊誌です。毎月、全国各地の保護者や指導員、専門家から寄せられる、子育てに関することや指導員の実践に役立つこと、国や都道府県のこと、学童保育に関する最新情報が掲載されています。また、売上の一部は山口県連協の財政に充てられます。学童保育講座や研修会などをより充実させるためにも、多くの方に読んでもらいたい一冊です。

(お問い合わせは山口県連協まで)

放課後児童支援員(現:放課後児童クラブ指導員)の資格認定研修ガイドライン(案)が示されました。

来年度から放課後児童クラブ指導員の名称が放課後児童支援員へと変更になり、支援員の資格認定研修を都道府県が行うことが決まっています。この研修は現在学童保育所で勤務されている方も対象となり、この研修を受講しなければ保育士資格や教員免許があっても有資格者とはなりません。

厚生労働省は、9万人(山口県約1200人)いる指導員全員が受講することを想定し、経過措置のある5年間で全員が受講できるよう毎年国が2億円、都道府県が2億円負担した4億円を、5年間かけて実施するので、20億円を予定しています。

(ここには現任研修の費用補助も含まれています。認定資格研修にいくら補助が出るのかはこれから年末にかけて明らかになる予定です。)

- 研修内容
1. 放課後児童健全育成事業の理解【4.5時間】
 2. 子どもを理解するための基礎知識【6.0時間】
 3. 放課後児童クラブにおける子どもの育成支援【4.5時間】
 4. 放課後児童クラブにおける保護者・学校・地域との連携・協力【3.0時間】
 5. 放課後児童クラブにおける安全・安心への対応【3.0時間】
 6. 放課後児童支援員として求められる役割・機能【3.0時間】
- 合計で24時間(16科目)の研修となります。
※ガイドライン(案)より

第12回 山口県学童保育講座 11月9日(日) 山口県セミナーパーク

山口県学童保育講座は毎年開催している学童保育の研修会です。今年は来年度から県が行う予定の放課後児童支援員資格認定研修をふまえ、指導員の皆さんの研修に特化した内容での開催となります。また、今年度の講座は山口県を含め、県内すべての自治体から後援を頂くことができました。子どもたちに質の高い保育を行うためにも指導員の自己研鑽は必須です。多くの方に参加していただきたいと思ひます。

◇全体会 9:45~12:05
 「子どもとの関わり方～すべての子どもに共通する魔法の言葉かけ～」
 講師 前崎勝則(周南総合支援学校・全障研山口支部長)

◇分科会 13:15~16:00

第2分科
「実践を考える」
 ～学童保育での子どもとの関わり～
 講師 前崎勝則(周南総合支援学校・全障研山口支部長)

第4分科
「父母会活動を通して」
 ～保護者との関わり的重要性～
 講師 土井知恵(山口市やまびこ学級指導員)

第1分科
「学童保育の生活づくり」
 ～私たちが大切にしたいこと～
 講師 角野いずみ(岡山県学童保育連絡協議会 事務局長・ひなづる児童クラブ指導員)

第3分科
「子ども・子育て支援新制度と学童保育」
 ～指導員として備えておくこと～
 講師 河野伸枝(全国学童保育連絡協議会 副会長)

第5分科
「遊びながら学びあう子どもたち」
 ～生きる力へ～
 講師 鍋倉功(福岡県よりどりちどり館学童クラブ指導員)

申込お問合せ先
 TEL 090-3594-9720 FAX 083-265-6718
 メール
 yamaguchikennrenkyou@ab.auone-net.jp

下関市の学童保育

下関市では学童保育の対象児童は1年生～3年生特別支援学級に在籍している児童は6年生までです。平日は18時まで、土曜日は13時までとなっております。児童クラブは18時までに児童数に応じて専任の嘱託職員(指導員)が1人か4人配置されていきます。また、必要に応じて臨時指導員(パート職員)が配置されます。嘱託職員は数年ごとに異動があります。指導員は12:30～18:30の勤務で、子どもたちの帰宅後に、連絡帳による出席状況の確認、保育料の入金やおやつ代の管理、おやつ代の準備、ミーティング、保育日誌の作成、事務書類の作成、小学校との調整、作業や行事の準備などを行います。

下関市では学童保育の対象児童は1年生～3年生特別支援学級に在籍している児童は6年生までです。平日は18時まで、土曜日は13時までとなっております。児童クラブは18時までに児童数に応じて専任の嘱託職員(指導員)が1人か4人配置されていきます。また、必要に応じて臨時指導員(パート職員)が配置されます。嘱託職員は数年ごとに異動があります。指導員は12:30～18:30の勤務で、子どもたちの帰宅後に、連絡帳による出席状況の確認、保育料の入金やおやつ代の管理、おやつ代の準備、ミーティング、保育日誌の作成、事務書類の作成、小学校との調整、作業や行事の準備などを行います。

おたよりの作成や図書館(本や紙芝居の準備)、おやつ買い出し、児童の記録などは時間外にも行うことがあります。年に数回は定例会や研修会などがあります。山口県学童保育講座は毎年勤務扱いとして嘱託職員約80名が参加しています。対象児童や開所時間、指導員配置基準などは来年度に向けて現在協議中です。保育内容は各児童クラブに任せられています。平日は宿題、おやつ、遊びなどで構成されています。おやつは市販の個包装になっていない物に限りません。施設によってお誕生会やお楽しみ会などを行っています。

壁面制作やその準備、保育室内の清掃、備品や遊具の管理などを行っています。おたよりの作成や図書館(本や紙芝居の準備)、おやつ買い出し、児童の記録などは時間外にも行うことがあります。年に数回は定例会や研修会などがあります。山口県学童保育講座は毎年勤務扱いとして嘱託職員約80名が参加しています。対象児童や開所時間、指導員配置基準などは来年度に向けて現在協議中です。保育内容は各児童クラブに任せられています。平日は宿題、おやつ、遊びなどで構成されています。おやつは市販の個包装になっていない物に限りません。施設によってお誕生会やお楽しみ会などを行っています。